

市町村名	栗国村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－①	環境美化促進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－（ウ）		
				観光客の受入体制の整備				
担当部課名	経済課	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）		
事業内容	村内を訪れる観光客の満足度の向上に向けて、観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	8,855	9,600	12,375	11,996	33,097	
		(b) 予算現額	6,965	6,684	8,475	11,996	21,271	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,890	▲ 2,916	▲ 3,900	0	▲ 11,826	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
		A. 計 (b+d)	6,965	6,684	8,475	11,996	21,271	
	B. 執行済額		6,965	6,684	7,266	10,747	20,156	
	うち交付金充当額		5,572	5,347	5,813	8,598	16,124	
	次年度繰越額		—	—	—	—	—	
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	85.7%	89.6%	94.8%	
予算の状況の説明		当初、33,097千円を予定していたが、実績に伴い、3月補正で11,826千円を減額した。観光地5ヶ所、アクセス道路13ヶ所の清掃美化作業に必要な作業員の賃金及び備品、消耗品、燃料の購入を行った。不用額1,115千円は、5月に1名、12月に1名の退職者がいたためと天候不良による賃金の執行残によるものである。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線	目 標	観光地：5箇所 （ アクセス道路： ） 13路線	観光地：5箇所 （ アクセス道路： ） 13路線	（ ）	（ ）		
		実 績	観光地：5箇所 アクセス道路：13路 線の実施	観光地：5箇所 アクセス道路：13路 線の実施				
	・備品購入	目 標	備品購入（自走 （ 刈払機、チェン ソー ）	（ 備品購入 ）	（ ）	（ ）		
		実 績	備品購入（自走式刈払 機、チェンソー）完了	備品購入（草刈機、ブ ロワー、車両、電動ド ライバ）完了				
達成 状況 説明	観光地5ヶ所及びアクセス道路13路線において、美化活動を実施した。観光地5ヶ所（大正池、ウーグ、東ヤマトウガー、ヤヒジャ、洞寺公園）については、作業周期を短くすることにより美化の維持管理ができた。草刈機、ブロワー、軽トラック、電動ドライバの購入を行った。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （30年度）
	・観光客の満足度：80％以上	目 標	（ ）	（ 70% ）	（ 80% 以上 ）	（ ）	（ ）	
		実 績		94%	94%			
	・アンケートによる本事業のあり方の検証	目 標	（ ）	（ ）	（ 事業の検証 ）	（ ）	（ ）	
		実 績			事業の検証			
	【H30成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80％以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目 標					80% 以上
進 捗 状 況 説明	観光地においては、雑草の成長時前に作業を入れ、効率的な作業が行え、観光客の受け入れる環境が整った。今年度より新規で草刈機、ブロワ、軽トラック等を導入したことにより、作業の能率が改善された。モニターツアー参加者へ満足度調査をおこなったところ、「とてもよかった」、「よかった」と答えた割合が94％となった。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・栗国村への観光客誘致及びリピート客を受け入れに向け、引き続き景観維持の向上を図る必要がある。 ・今年は台風の影響が少なかったため雑草の成長が早くなり、美化作業が長時間化した。	・シーズン、村のイベント前に美化作業をすることにより観光客の満足度を高めることができた。さらに観光客の満足度を高めるためにシーズンごとに開花できる植栽にも力を入れる必要がある。 ・賃金職員の採用については、年間を通じて就業できるよう指導し、作業時期、作業場所、時間を考慮し、安全な作業が行えるよう指導、及び管理を継続して行う。
今後の取り組み方針		
・観光客の期待を超える景観づくりを維持し、シーズンにあわせた緑化を推進することでリピート客を増やす。 ・雑草の適切な駆除を行い、アクセス道路の美化及び、景観の向上を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>20,156</td><td>20,156</td><td>16,124</td><td>4,032</td><td>0</td></tr></table> 栗国村 20,156千円 賃金 17,442千円 備品購入費 1,884千円 需用費 830千円 作業員 4～3月 延べ180人分 草刈機 ブロー 軽トラック 電動ドライバ 作業に使用する消耗品及び燃料費					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	20,156	20,156	16,124	4,032	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
20,156	20,156	16,124	4,032	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、賃金職員を村規定に基づき採用し、妥当であった。 ○予算規模について 不用額は事業費の約5%であり適正な規模であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－②	景観計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－(ア)	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成28～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立	
事業内容	栗国島の豊かな自然や歴史等の風景を活かした魅力的な観光地の景観形成に向け、景観計画の策定に取り組む。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(31年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,913	7,310			
		(b) 予算現額	5,594	7,128			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 319	▲ 182			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計(b+d)	5,594	7,128			
	B. 執行済額		5,594	7,128			
	うち交付金充当額		4,475	5,702			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		不用額182千円については委託の入札残によるもので、事業間流用を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	景観計画(案)の検討 (景観計画区域及び行為の制限などの検討)	目 標	()	(景観計画(案)の検討)			
		実 績		景観計画(案)の検討			
	【参考指標】 景観計画基礎調査の実施	目 標	(景観計画基礎調査)	()		()	
		実 績	景観計画基礎調査				
達成状況説明	豊かな自然や歴史等の風景を活かした魅力的な観光地の景観形成に向けて景観計画を検討した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(31年度)
	景観計画(案)の策定	目 標	()	()	(景観計画(案)の検討)		()
		実 績			景観計画の策定		
	【参考指標】 景観計画の策定に向けた環境の整備	目 標	()	(環境の整備)	()	()	()
		実 績		環境の整備			
	【H31成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標					80%以上
		進捗状況説明	平成29年度は、景観計画の検討を行い豊かな自然や歴史等の風景を活かした魅力的な観光地の景観形成に向けて景観計画を策定した。				

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ワークショップ開催し、先進地視察や地域歩きを行い島の魅力や課題を共有することが出来た。村づくり計画策定検討委員会の開催や庁舎内検討会を実施し景観計画策定に伴い、村の助成等の検討を行った。景観計画の住民説明会を行ったが参加者が少なく、今後は、住民にわかりやすいガイドラインの作成を行い理解を深めていく。	・住民の合意形成を図り、わかりやすいガイドラインを作成し景観条例の制定を行う。
今後の取り組み方針		
・景観計画に基づき、自然や歴史等風景を活かした魅力的な観光地としての景観形成を図るため、住民にわかりやすいガイドラインを作成する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>7,128</td><td>7,128</td><td>5,702</td><td>1,426</td><td></td></tr></table> 栗国村 7,128千円 委託料 7,128円 株式会社都市科学政策研究所 7,128千円 栗国村風景づくり推進策定調査業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,128	7,128	5,702	1,426	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,128	7,128	5,702	1,426											
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の0%であり内事業間流用は3%以内で適正な規模であった。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村										
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	1－③		大正池公園機能拡充事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－3－(2)－(ア)		
									国際的な沖縄観光 ブランドの確立		
担当部課名	経済課 総務課			事業実施 (予定)年度		平成27～29年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ－1－(1)	
事業内容	野鳥観察ができる観光スポットとして機能拡充のため、階段、通路、野鳥観察施設を整備する。										
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(30年度)										
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況				27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度		
			(a) 当初予算額		7,904	0		217,171			
			(b) 予算現額		7,904	0		203,275			
			(c) 増減額 (b-a)		0	0	0	▲ 13,896			
			(d) 繰越額		－	7,904		0			
			A. 計 (b+d)		7,904	7,904	0	203,275			
			B. 執行済額		0	5,130		196,750			
			うち交付金充当額		0	4,104		157,400			
			次年度繰越額		7,904	0		0			
			執行率(％)(B/A)		0.0%	64.9%	#DIV/0!	96.8%	#DIV/0!		
予算の状況の説明		不用額13,896千円については工事及び委託の入札残によるもので、事業間流用を行った。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)				達成状況						
						29年度	30年度	31年度	32年度		
	野鳥観察設備の設置 2箇所				目 標	(2箇所)	()	()			
					実 績	2箇所					
	木道・浮き桟橋の整備				目 標	(整備)	()	()			
					実 績	整備					
	達成 状況 説明	大正池公園2号池沿いに 野鳥観察設備の設置(2箇所)及び木道・浮き桟橋の整備を完了した。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)					基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (30年度)	
	野鳥観察設備の設置完了 2箇所				目 標	()	(2箇所)	()	()	()	
					実 績		2箇所				
	木道・浮き桟橋の整備完了				目 標	()	(完了)	()	()	()	
					実 績		完了				
	【H30成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含 め、当該施設のあり方をアンケートにより 検証する。				目 標					80% 以上	
	進 捗 状 況 説 明	野鳥観察設備の設置(2箇所)及び木道・浮き桟橋の整備を完了した。									

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・整備した階段デッキ等を適切に管理するとともに、施設の誘客を図る必要がある。	・整備箇所の経年観察を行うとともに、誘客増加に向けた周知を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・パンフレット作成やSNS等を通して魅力ある観光施設としての周知を図り、情報発信を行うとともに、安全な利用に向けての体制づくりも合わせて推進する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>196,750</td><td>196,750</td><td>157,400</td><td>39,350</td><td>0</td></tr></table> 栗国村 196,750千円 工事請負費 193,942千円 有限会社 丸内重機 193,942千円 〔 大正池公園機能拡充整備工事 〕 委託料 2,808千円 永技研 株式会社 2,808千円 〔 大正池公園機能拡充整備工事監理業務委託 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	196,750	196,750	157,400	39,350	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
196,750	196,750	157,400	39,350	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争により実施し、工事は一般競争入札にて実施しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、不用額は5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については検査を実施しており必要なものと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村									
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	2－①		国際交流支援事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－5－(4)－ア	
									国際社会、情報社会 に対応した教育の推進	
担当部課名	教育委員会 総務課				事業実施 (予定)年度	平成27～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－(1)	
事業内容	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材の育成を図るため、村内の中学生の海外短期留学を支援する。									
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)									
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			(a) 当初予算額		1,805	2,906	2,906			
			(b) 予算現額		1,805	2,906	2,906			
			(c) 増減額 (b-a)		0	0	0			
			(d) 繰越額		—	—	—			
			A. 計 (b+d)		1,805	2,906	2,906			
			B. 執行済額		1,508	2,695	2,825			
			うち交付金充当額		1,340	2,156	2,260			
			次年度繰越額		—	—	—			
			執行率 (%) (B/A)		83.5%	92.7%	97.2%			
			予算の状況の説明		不用額81千円は契約額残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び 達成状況	H29活動目標(指標)				達成状況					
					27年度	28年度	29年度	30年度		
	海外ホームステイ生徒派遣				目 標	(3名)	(5名)	(5名)	()	
					実 績	3名	5名	5名		
	報告書作成				目 標	()	(20部)	(20部)	()	
					実 績		20部	20部		
達成 状況 説明	中学生の参加希望者が予定人数5名を上回る10名の応募があったため、筆記試験に加え、面接による選考を行い、5名を派遣した。参加決定者はALTや英語担当教員、教育委員会で事前学習を実施した。7月下旬～8月にかけての夏期休校の時期にアメリカ合衆国カリフォルニア州ユバシティへ派遣を実施した。また帰国後、報告書の作成及び村内行事での発表も実施して成果報告もすることができた。									
成果目標 (指標) 及び 進捗状況	H29成果目標(指標)				基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (30年度)	
	ホームステイ実施前後の意識調査を行い、授業などへの取組姿勢などが向上したと答えた割合が80%以上				目 標	()		(80%以上)	()	
					実 績			100%		
	英検受験者数の増加 平成29年度英検受検 生徒の70%				目 標	()	(受検)	(英検受験者数 の増加)	(英検受験者 数の増加)	
					実 績		受検	18名増加	53%増加	
	【参考指標】 英語スピーチの実施				目 標	()	(出場)	(英語スピーチ の実施)	(英語スピーチ の実施)	
					実 績		出場	英語スピーチの派遣 2名	英語スピーチの派遣 2名	
	【H30成果目標】 帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。				目 標				80% 以上	
進 捗 状 況 説 明	・短期留学者5名から提出された英文報告書は学習発表会で英語で報告を全員が行った。 ・英検受験者は平成28年度実績18名から平成29年度実績20名とわずかながら増加している。短期留学に向け英語に関する学習意欲が向上している。 ・英語スピーチの実施として、選考し、英語ストーリーコンテストへ2名の生徒の派遣を行った。									

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・海外ホームステイ参加希望者が予定人数を上回った。 ・英検受験者数の増加が目標に達しなかった。 ・発表以外に今後参加を希望する生徒や参加していない生徒達との情報共有の場づくりや村内での成果の周知等についての取組を増やす必要がある。	・派遣予定数の検討を行う必要がある。 ・従来から実施している受験料の半額補助の周知を強化する必要がある。 ・これまで取り組んできた村内行事での発表に加え、広報、ホームページなどへの積極的な掲載に取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
・生徒の応募状況等を踏まえて、海外ホームステイ派遣生徒数の検討を行う。 ・英検受験者数の増加に向けて、学校の協力を得て受験料補助の周知を強化する。 ・広報、ホームページなどへの積極的な掲載を実施し、学習意欲の向上を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,825</td><td>2,825</td><td>2,260</td><td>565</td><td>0</td></tr></table> 栗国村 2,825千円 委託料 2,825千円 (株)南日本カルチャーセンター 2,825千円 国際交流支援事業委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,825	2,825	2,260	565	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,825	2,825	2,260	565	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札により実施しており妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の3%以内であり適正な規模であった。 ○事前研修に必要な交通費等は参加者の負担となっており、目的達成のためには妥当な負担関係である。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認し、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

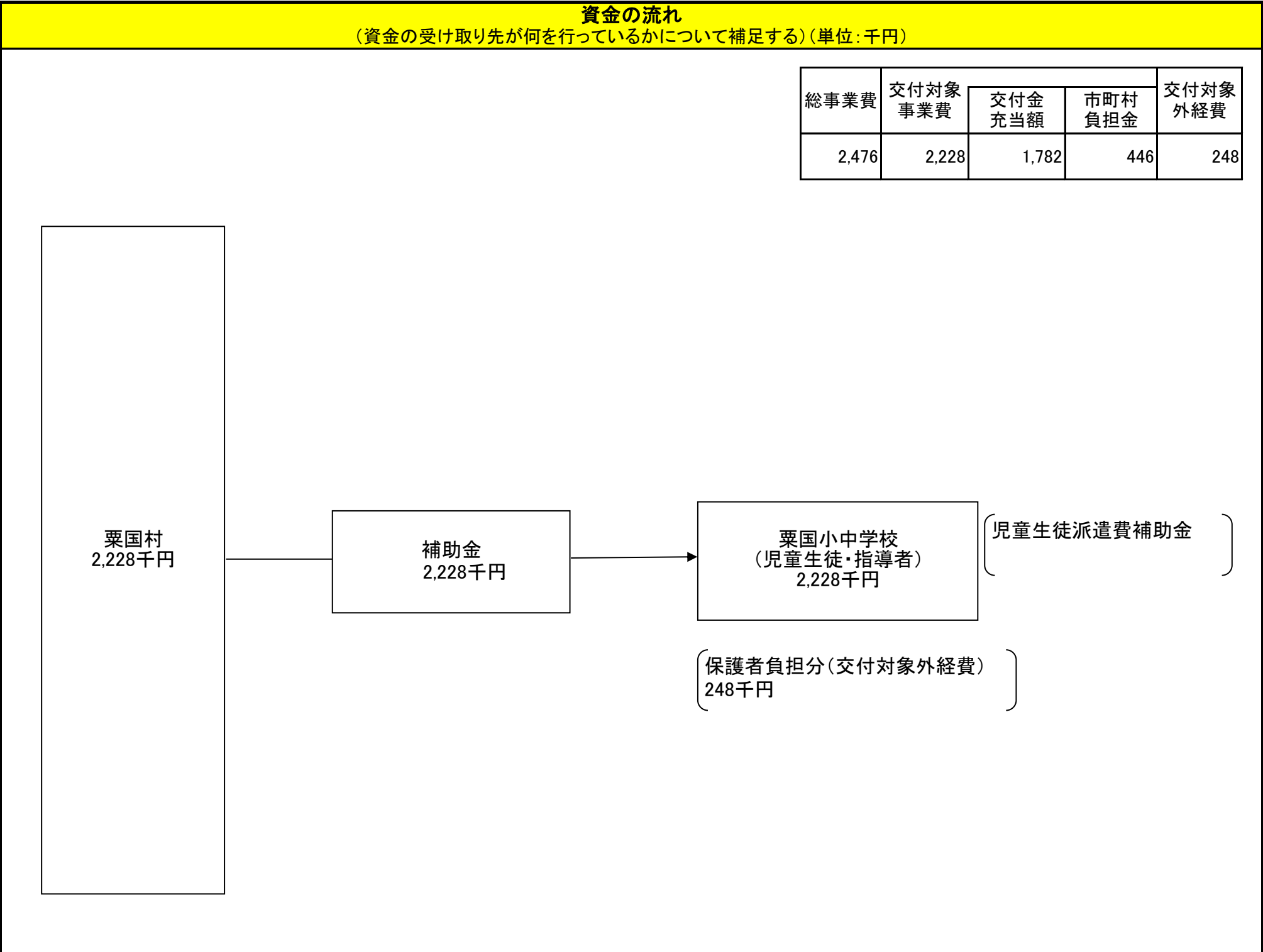
市町村名	栗国村						
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	学力向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-(ア)	
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施 (予定)年度	平成27～33年度			教育機会の拡充	
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、児童生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	18,688	4,565	4,217		
		(b) 予算現額	13,688	3,858	4,217		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 5,000	▲ 707	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計(b+d)	13,688	3,858	4,217		
	B. 執行済額		10,744	2,971	1,896		
	うち交付金充当額		8,595	2,377	1,516		
	次年度繰越額		0	0	—		
	執行率(%) (B/A)		78.5%	77.0%	45.0%		
予算の状況の説明		不用額2321千円について、当初4月より業務執行予定であったが、事業内容変更に伴い8月に交付決定となったことによる減である。また悪天候のため講師が来島できないこともあったため、精算時に減となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	・8月～翌年3月まで、月100コマの村営塾の実施		目 標 (月100コマ)	()	()	()	
	実 績		未達成月80コマ				
達成 状況 説明	未達成の理由として、悪天候のため講師が来島できないことがあり、また生徒の大会派遣等と重なることもあり、予定通りに事業実施することができなかった。 村内の中学校で村営塾を開催し、生徒への学習支援を実施した。 中学生(50分)として下記のとおり授業実施 ○中学1年生は、週3日間4コマ実施(土日月) ○中学2年生は、週3日間4コマ実施(金土日) ○中学3年生は、週4日間12コマ実施(金土日月)						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (30年度)
	島内の生徒の学習環境の充実	目 標	()	(学習環境 の充実)	(学習環境 の充実)	()	()
		実 績		学習環境の充実	学習環境の充実		
	村営学習塾(中1～中3)受講率 平成29年度50%以上	目 標	()	()	(50%以上)	()	()
		実 績			60%		
	【H30成果目標】 沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:5ポイント 中学校:5ポイント		目 標				小学校:5 ポイント 中学校:5 ポイント
	進 捗 状 況 説 明	へき地離島である本村では教育環境格差の解消及び確かな学力の向上と人材育成のため、学習塾を実施している。塾を活用することにより、テスト対策のノウハウを学び、前年度から今事業を継続して実施し、学習環境の充実を図った。 全国学力調査の結果として中学生は、県平均を上回った。 中1～中3年生の受講率は、平均受講率60%となった。 9月(95%)、10月(53%)、11月(45%)、12月(52%)、1月(64%)、2月(54%)、3月(61%) 受講率平均60%					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・前年度の受講率の低さから、今年度は小学生を対象外とした。	・小学生を対象にした学習塾の需要の有無について調査する必要がある。
今後の取り組み方針		
・小学生の保護者を対象にして、小学生向けの学習塾の需要調査を行い、対象者の拡大を検討する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>1,896</td><td>1,896</td><td>1,516</td><td>380</td><td>0</td></tr></table> 栗国村 1,896千円 委託料 1,896千円 一般社団法人教育振興会 1,896千円 アニー学力アップ支援事業委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,896	1,896	1,516	380	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,896	1,896	1,516	380	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○精算による減もあり不用額が45%となった。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村									
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	2－③		児童・生徒派遣支援事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－5－(2)－(ア)	
									教育機会の拡充	
担当部課名	教育委員会　総務課			事業実施 (予定)年度	平成27～33年度			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－(1)	
事業内容	離島の児童・生徒の島外の大会、教育活動への参加の機会を確保するため、児童・生徒の島外派遣を支援する。									
効果発現年度	■当年度　　□後年度(　　年度)									
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他(　　)									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)	予算 の 状 況				25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
			(a) 当初予算額		3,416		8,673	4,151	5,319	
			(b) 予算現額		2,571		8,673	1,911	3,019	
			(c) 増減額(b-a)		▲ 845		0	▲ 2,240	▲ 2,300	
			(d) 繰越額		－		－	－	－	
			A. 計(b+d)		2,571		8,673	1,911	3,019	
			B. 執行済額		526		1,048	1,756	2,228	
			うち交付金充当額		421		838	1,405	1,783	
			次年度繰越額		－		－	－	－	
			執行率(%) (B/A)		20.5%		12.1%	91.9%	73.8%	
		予算の状況の説明		当初予算額より2,372千円はフェリーの欠航及び精算によって発生した不用額を減額。791千円の不用額についても同様に精算時に発生した不用額						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)				達成状況					
						28年度	29年度	30年度	31年度	
	児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援				目 標	(支援)	(支援)	()	()	
					実 績	支援実施	支援実施			
達成状況説明		例年スポーツ及び文化面では優秀な成績をおさめており、今年度も同様に優秀な成績をおさめた。 悪天候等によりフェリー欠航で参加できない大会もあったが、バドミントン大会・リコーダーコンテスト・交流学习といったスポーツ・文化・教育活動に係る派遣が実施できた。 平成28年度の支援実施人数が、146名 平成29年度の支援実施人数が、195名								
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)					基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (30年度)
	島内の児童生徒の島外での諸教育活動への参加機会の確保:100%				目 標	()	(参加機会の確保 100%)	(参加機会の確保 100%)	()	()
					実 績		参加機会の確保 100%	参加機会の確保 100%		
	【H30成果目標】 対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。				目 標					80% 以上
	進捗状況説明		中体連主催で開催されている大会についても積極的に参加できるよう年間行事計画で確保しており、参加機会が希望者に対し100%確保できた。 文化面についても、島尻地区音楽発表会においても小中ともに地区代表に選ばれ全沖縄音楽発表会に出場し、よい結果をおさめている。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・悪天候によるフェリー欠航等については、ヘリタクシーの利用等で改善されてきたが、20名以上になるとヘリタクシーの運行状況によっては、全員派遣できない場合がある。	・悪天候が予想される場合は、前倒しで出発して対応できるか学校及びPTAで話し合い前向きに検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
・計画した大会等に児童生徒を確実に派遣できるよう、天候に応じて対応する。また、飛行機の運航が再開された場合については、飛行機利用も検討する。		



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、粟国小中学校を通して児童・生徒に間接的に補助する形態であり、妥当である。 ○予算規模については、フェリー欠航等による残はあったが、その他については妥当であった。 ○受益者負担については粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づいて保護者から一律の負担となっており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき支給していることや派遣費の使途については精算時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村										
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-①		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－3－(11)－(ア)		
									交通・生活コスト低減		
担当部課名	総務課			事業実施(予定)年度		平成28～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ－9－(1)	
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から栗国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援実証を実施する。										
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)										
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)	予算の状況				28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
			(a) 当初予算額		3,113	4,571					
			(b) 予算現額		3,113	4,571					
			(c) 増減額(b-a)		0	0					
			(d) 繰越額		—	—					
			A. 計(b+d)		3,113	4,571					
			B. 執行済額		2,698	3,969					
			うち交付金充当額		2,159	3,174					
			次年度繰越額		0	0					
			執行率(%) (B/A)		86.7%	86.8%					
		予算の状況の説明		平成29年4月1日～平成29年3月17日の間の食品・日用品輸送経費の実績により補助額の確定を行った。602千円は精算額の残によるものである。							
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)				達成状況						
					28年度	29年度	30年度	31年度			
	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援				目 標 (輸送経費及び作業経費の支援)	(輸送経費及び作業経費の支援)	()	()			
					実 績 7月より輸送経費及び作業経費の支援実施完了	輸送経費及び作業経費の支援実施					
達成状況説明		平成29年6月に登録事業者の決定を行い、7月1日の輸送経費から補助開始を行った。									
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)				基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)		
					目 標	()	(132以下)	(132以下)	()		
	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)の縮小(参考)H27指標:132程度				実 績		124.1	122.0			
	【H30成果目標】生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-8.1ポイント以下				目 標				-8.1ポイント以下		
	進捗状況説明		登録している3事業者の商品(食品・日用品)輸送経費を平成28年7月から補助開始。この補助額に応じて各事業者が商品販売額の値引きを行った結果、沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)が、平成27年9月は132.2だったのに対し、本事業開始後の平成28年12月には124.1、平成29年12月には122.0と、10.2ポイント下がることとなった。								

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・本事業の認知度が高い（88.3%）一方、住民から価格低減が実感しにくい状況になっている。	・特定商品の特売セールや曜日限定の値引きの実施などを事業者と検討する。
今後の取り組み方針		
・住民が価格低減を実感しやすい手法を検討しつつ、今後も昨年同様に登録事業者へ離島食品・日用品の輸送経費の補助を継続し、本村住民の生活コストの低減を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>3,969</td><td>3,969</td><td>3,174</td><td>795</td><td>0</td></tr></table> 登録事業者 輸送・販売 * 登録事業者は沖縄県知事へ申請し登録事業者となる 粟国村 3,969千円 補助金 （航路事業者） 3,969千円 （登録事業者） JAおきなわ粟国支店 2,136千円 （登録事業者） 浜売店 1,256千円 （登録事業者） 新城商店 577千円 補助額に応じて 商品から値引きを 行い、購入者へ 商品を安く提供 住民等 値引きされた商品を購入					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,969	3,969	3,174	795	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,969	3,969	3,174	795	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、離島食品・日用品輸送費等補助事業補助金交付要綱に基づき、知事により登録を受けた小売業者に補助対象品目の輸送を行う航路事業者に補助を行い、県と村で2分の1補助する形態であり、妥当である。 ○予算規模については、実績による608千円の残はあったが、その他については妥当であった。 ○受益者負担については要綱に基づいて補助対象品目のみの輸送費の補助であるため妥当であったと考える。 ○費目・使途については、要綱に基づき補助しており、精算時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村										
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-②		栗国村交通移動手段安定化対策事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－3－(11)－ウ		
									交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化		
担当部課名	総務課			事業実施 (予定)年度		平成27～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ－9－(1)	
事業内容	島民及び観光客の交通ネットワーク手段を安定的に確保するため、航空路線が運航日以外の日にはチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。										
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)										
実施方法	□ 直接実施 □ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他 ()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)	予算の状況				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
			(a) 当初予算額		10,713	32,960	36,480				
			(b) 予算現額		13,440	36,958	38,720				
			(c) 増減額 (b-a)		2,727	3,998	2,240				
			(d) 繰越額		—	—	—				
	A. 計 (b+d)		13,440	36,958	38,720						
	B. 執行済額		13,440	36,160	38,720						
	うち交付金充当額		10,752	28,928	30,976						
	次年度繰越額		0	0	0						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.8%	100.0%						
予算の状況の説明		利用者が想定より上回ったため、2,240千円を事業間流用により増額した。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)				達成状況						
					27年度	28年度	29年度	30年度			
	航空路線が運航日以外の日 の島民及び観光客のチャーターヘリコプター利用料金を一部支援				目 標	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	()		
					実 績	利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金を支援			
達成状況説明		運休していた航空路便が平成30年1月15日～3月31日再開されたことに伴い、平成29年4月3日から平成30年1月14日までの484フライトに対する支援を行った。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)					基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (30年度)	
	定期航空路が運行しない日の島民及び観光客の移動手段の確保				目 標	()	(移動手段の確保)	(移動手段の確保)	(移動手段の確保)	()	
					実 績		移動手段の確保	移動手段の確保	移動手段の確保		
	【H30成果目標】 ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。				目 標					80% 以上	
	進捗状況説明		チャーターヘリの運航により、移動手段の確保が行えた。 定期空港路がない状況におけるヘリ利用に対し、1フライト8割補助を実施しており、フェリーの補完的交通手段として、1,608人の利用実績があった。(平成28年度は1609人 ただし、1月15日～3月31日航空路線再開がなければ、さらなる利用があったと考えられる)								

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・フェリー欠航時等はヘリの搭乗希望者から役場へ連絡がくるが、天候不良の場合、周辺離島でも同航空会社へのヘリの予約が殺到するため、本村の搭乗希望者が予約できないことが多々ある。	・住民へのヘリの利用に関して、周辺離島も利用することや、悪天候の場合は予約が殺到するため早めの予約をするよう、問合せがある際は細かくアナウンスし継続して周知していく。
今後の取り組み方針		
・搭乗希望者からの問合せ時には、ヘリの予約方法・また予約が混み合うことを伝え、早めに貸切の予約をエクセル航空に連絡するようにご案内する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
栗国村 38,720千円 補助金 38,720千円 エクセル航空株式会社 38,720千円 ヘリコプターチャーターに対する 運賃の一部支援 <table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>48,400</td><td>38,720</td><td>30,976</td><td>7,744</td><td>9,680</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	48,400	38,720	30,976	7,744	9,680
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
48,400	38,720	30,976	7,744	9,680										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、ヘリ運航事業者はエクセル航空株式会社のみが参入しているので妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は当初の想定を上回ったため流用により2,240千円増額したが、事業内容に見合った適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は1フライトにつき8割補助、2割受益者負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	栗国村							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	環境衛生処理事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－(2)－ア			
					3Rの推進			
担当部課名	民生課	事業実施 (予定)年度	平成28～29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－10－(1)			
事業内容	循環社会の形成を図るため、生ごみ処理機を導入し、生ごみの島内処理体制を構築する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(30年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	1,785	68,044				
		(b) 予算現額	1,725	72,328				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 60	4,284				
		(d) 繰越額	—	—				
		A. 計 (b+d)	1,725	72,328				
	B. 執行済額		1,674	72,055				
	うち交付金充当額		1,339	57,644				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率 (%) (B/A)		97.0%	99.6%				
	予算の状況の説明		本事業に不足が生じたため、273千円は事業間流用により増額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	生ごみ処理機・粉砕機の設置:1基	目 標	(1基)				()	
		実 績	1基					
	生ごみ処理機の建屋の整備:150㎡	目 標	(150㎡)				()	
		実 績	150㎡					
	達成 状況 説明	建屋が完成し、業務用生ごみ処理機・草木等の粉砕機を購入・設置した。平成30年3月より生ごみ排出の世帯を募集し、平成30年度において生ごみの回収を開始し、草木等も粉砕・咬合することにより堆肥製造を行っていく。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (30年度)
	生ごみ処理機・粉砕機の設置完了	目 標	()		(設置完了)	()	()	
		実 績			設置完了			
	生ごみ処理機の建屋整備完了	目 標	()		(整備完了)	()	()	
		実 績			整備完了			
	【参考指標】環境衛生処理施設の実施設計の完成	目 標	()	(設計図書 の完成)	()	()	()	
		実 績		設計図書の完成				
	【H30成果目標】 島内の生ゴミ処理体制が確保されたか (80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートにより検証する。	目 標					80% 以上	
進 捗 状 況 説明	回収した生ごみを処理するための生ごみ処理機や破砕機、堆肥としての保管場所等など作業効率のよい動線また、衛生的な環境づくりとなるよう考慮し工事を完了させた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・平成30年3月末での生ごみの回収への参加戸数は30戸であり、全世帯数433戸の10%にも満たない。回収方法について周知方法や、堆肥化できた肥料の有効活用などについて継続して検討する必要がある。	・広報、公式サイトなどを利用しての周知を拡充し、稼働率の向上を図っていく。
今後の取り組み方針		
・事業内容の村民への周知徹底と、生ごみ処理体制の効率化の検討とその確立を行い、可燃ごみの削減と堆肥による村内環境美化活動を推進していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
栗国村 72,055千円 工事請負費 46,945千円 備品購入費 23,976千円 委託料 (監理) 1,134千円 有限会社トーワ 46,945千円 株式会社光エンジニア 23,976千円 上城技術情報株式会社 1,134千円 栗国村環境衛生処理施設新築工事 業務用生ごみ処理機及び樹木などの粉砕機購入 栗国村環境衛生処理施設新築工事監理委託業務														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>72,055</td><td>72,055</td><td>57,644</td><td>14,411</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	72,055	72,055	57,644	14,411	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
72,055	72,055	57,644	14,411	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は一般競争入札、工事及び備品購入の業者は一般競争入札により選定しており妥当であった。 ・執行率等から見て適正な規模であった。 ・費目、使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												